

連絡先:総務部行財政改革推進課
 担当者:後田、加藤、中村
 電話番号:059-224-2231

平成27年度 M I E 職員カ アワード発表会での知事・副知事審査結果と職員セレクト賞、来場者セレクト賞結果

表彰種別	分野	部門	部局名	活動テーマ	グループ名	取組概要
グランプリ（改善活動分野） （M I E 職員カ アワード発表会の当日、「部門賞」受賞取組の中から、知事・副知事が自らの審査で選定した取組）	改善活動分野	自由テーマ部門	環境生活部	県立図書館版[としょコン]～お気に入りの本が結び、新しい出会い～	ナイトライブラリーへようこそ！2015（図書館、少子化対策課）	県立図書館と子ども・家庭局少子化対策課が連携して、閉館後の図書館を会場に「ナイトライブラリーへようこそ！2015 お気に入りの本が結び、新しい出会い」を開催した。これは、普段入れない地下の書庫などのバックヤードの見学と閉館後の館内でグループになり自分の好きな本を紹介した後に、閲覧室の中で交流会を開催する催しである。イベントのポスターやチラシはデザインから印刷まで職員が手作りするとともに、参加者へのサプライズプレゼントとして、職員がそれぞれ工夫を凝らしたカードを添えたおすすすめ本を準備するなど、当日の運営まで図書館全館で取り組んだ。（参加者：男性12名、女性12名）また、県立図書館の本の貸出期間が15日間というルールを利用した、再会の場も用意して出逢いの効果をさらに演出した。（参加者：男性4名、女性2名）
グランプリ（グッドパフォーマンス分野） （M I E 職員カ アワード発表会の当日、「部門賞」受賞取組の中から、知事・副知事が自らの審査で選定した取組）	GP分野	ピカイチ部門	雇用経済部	ひとをよびこめ！三重ジョブキッズキャラバン開催！！	雇用対策課	本県への交流人口を増加させ、ひいては定住人口を増加させることを目指し、県内各地の特長ある“三重ジョブ”を本物の事業者がキッズニースタイルで子どもたちに提供する「三重ジョブ キッズキャラバン～アウトオブキッズニア～」を実施した。事業初年度で、参加事業者開拓や実施スキームの企画などゼロからのスタートだったが、最初の鳥羽開催では、普段の生活ではわからない、立ち入れない場所で“しごと”を体験し、その8割が「三重県がより好きになった」と回答するなど参加者から高い評価をいただいた。
職員セレクト賞 （「部門賞」受賞取組の中で、職員の支持を最も集めた取組）	改善活動分野	協創推進部門	農林水産部	えっ！？「田んぼ」が洪水から地域を守る！	みえ田んぼダム推進チーム（津農林水産事務所）	近年の局地的豪雨等により、津市内河川沿いには避難勧告が発令され、一部浸水被害も発生しており、住民は生活に不安を感じている。そうした中、地域の自主防災活動の一つである「田んぼダム」は、水田の排水口に板を設置し、一時的に雨水を貯留させ、ゆっくり時間をかけて排水することで洪水の発生を防止・軽減できる取組である。仮に、津市の水田約6400haで10cm雨水貯留できた場合、640万tが貯留できる。また、この取組は、治水対策だけでなく、農家が農地・農作物を自ら守るといった重要な役割も同時に期待できる。 そこで、他県の事例調査をふまえ、津市内の農家に対し「田んぼダム津農林モデル」の提案を行い、協議を重ねた結果、市内31haの水田において、来年度からの実施を実現した。
来場者セレクト賞 （M I E 職員カ アワード発表会の当日、「部門賞」受賞取組の中で、県職員以外の会場来場者の支持を最も集めた取組）	改善活動分野	成果向上部門	病院事業庁	地域の医療を支える「救急隊ホットライン」・「外来ホットライン」の取組	一志病院 診療部・看護部	一志病院は、高齢化の進む津市白山町及び美杉町を主な診療圏とし、初期診療を担う医療機関として、毎日、24時間体制で救急患者の受入を行っている。この地域の救急医療体制をより充実させるため、救急隊からの連絡専用医師直通の「救急隊ホットライン」（H25.8～）を開設するとともに、近隣の福祉施設・開業医との連絡専用外来看護師長直通の「外来ホットライン」（H26.12～）を開設してきた。 この取組によって、一志病院選定（患者受入連絡）時間の短縮（4分→3分）、地域の福祉施設職員の不安軽減、救急搬送患者の増加（294件（H24）→423件（H26））を背景とした入院収益等の増加により、経常収支の黒字化につなげるなど、地域住民よし、救急隊や近隣の福祉施設よし、病院よしの「三方よし」の取組となった。